



COMPANY DATA



外壁塗装・屋根塗装

株式会社ハザマ

【所在地】

山形県山形市青田一丁目 3-8

【仙台営業所】宮城県仙台市若林区六丁の目東町 4-30

URL : <http://www.p-hazama.jp>

【業務内容】

塗装工事全般 防水工事

注入・改修工事 シーリング工事

サイディング工事 新築、リフォーム・メンテナンス

風通しの良い職場環境を実現し 一丸となってより高みを目指す

▶▶▶一級塗装技能士を有し、その確かな技術と迅速な対応、質の高い施工で信頼を得る『ハザマ』。大柳社長は、従業員の意見に積極的に耳を傾け、風通しの良い職場環境を実現しており、それが同社の成長につながっている。本日は、タレントのダンカン氏が同社を訪問し、お話を伺った。



ダンカン (タレント)

「『若いころ、色々な人に迷惑をかけてしまった』と語る大柳社長。後悔されているご様子ですが、だからこそ周りに感謝できる人間になられたのだと思いますし、その過去は今後の社長の成長の糧となっていくことでしょう。応援していますよ！」



▶▶▶明るい笑顔が生み出す力

▼「見た目も心も明るく生きる」をモットーに、会社を成長させてきた大柳社長。そんな社長は、自身について「まだまだ子ども」なのだと語る。さらに、「でも、それでいいんです」と続けた。「私は、子どもの心を忘れずにいたい。純粋な気持ちで、目の前のことに取り組み、明るく笑う子どもたちのように、私も常に明るく、笑顔でいたいんです」と社長。現場に行けば朗らかに挨拶することからはじめるのだという。そんな社長の明るさにつられて、現場で働く従業員たちも常に笑顔だ。「自分が笑顔でいることで、周囲の人々も巻き込んで、皆が笑顔で過ごすことができたら、それが一番ですね」と社長は明るく語る。社長はこれからも笑顔で仕事に取り組み、現場を活気づけていく。



代表取締役

大柳 翔舞

——早速ですが、大柳社長の歩みから伺います。

宮城県仙台市出身です。学生のころはやんちゃで、色々な人に迷惑をかけていました。ある時、このままでは何もない大人になってしまふと思い至り、誰も知り合いがない場所で新たに一からやり直そうと、山形県のある塗装会社に就職したんです。

——新しい土地で、新しい人生をスタートさせたと。何故、地元から出ることにされたのですか。

私は刺激がほしいタイプの人間なので、思い切って環境を変えたかったんです。とはいって、11万円の月給で、家賃や生活費のすべてを貯っていたので、正直つらくて、仕事を辞めようかと思ったことも。さらに、地元の仲間たちは変わらず遊び続けていましたから、正直うらやましいと思うこともありました。でも、辞めずに続けたのには理由がありました。勤務先は山形県で一番大手の塗装会社で、そちらで働いている方々は皆さん高い技術を持っていました。中には、国家試験受験者用の講座で講師を務める方もいらっしゃったほどでした。そんな仕事に専心する方々と一緒に働く中で、途中で辞めてしまうのは格好悪いなと思うようになったんです。それで必死に仕事に打ち込んで技術を学びました。19歳の時には、職人たちが技術を競い合う大会に出場して、2位という好成績を残すことができたんです。

——それは素晴らしい！ それだけ社長が努力されたということでしょう。その後独立を？

はい。結婚して子どもが生まれたことを機に、20歳で独立に踏み切りました。現在は、塗装工事全般、防水工事、注入・改修工事、シーリング工事、サイディング工事、新築、リフォーム・メンテナンスなどを手掛けています。

——やんちゃだった若者が、よくここまで成長されましたね。

それは、家族の存在が大きいです。私の実家は裕福ではなくて、両親は働きづめで、ご飯を作りに帰ってくるくらい出づぱりでした。両親を責める気はありませんが、今思えばその家庭環境が、自分がやんちゃになる原因だったのかもしれません。それで、色々な人に迷惑をかけてしまったので、自分の子どもには絶対にそうなってほしくない、そうさせではないという思いがあるんです。家族の存在が自分を奮い立たせ、ここまでやってこられましたね。

——迷惑をかけてしまったということそのものは良いことではありませんが、社長はその経験を糧にできる方だと思います。

ありがとうございます。自分自身そうありたいと思っています。独立に際しては、「一緒にやろう」と言ってくれる仲間もできました。すると、一人、また一人と仲間が増えていき、請負で現場を任せただけるようになっていったんです。その後、直接依頼をいただけるようになっていき、従業員も増えて現在は全部で11名おり、私よりも年上の従業員が多く、皆後進の指導に熱心なのでとても助かっています。

——それは心強いですね。社長は普段、

従業員の方々とはどのように接しているのでしょうか。

月に一回のミーティングでは、私の悪いところや直してほしいところと、要望を必ず一つ以上言ってもらっているんです。指摘された悪いところはしっかりと直し、要望については、社員の実績を踏まえて要望に応えることで、評価を形にするようにしています。そうすれば、社員たちのモチベーションも上がりますから。

——風通しの良い社風を保ち、さらに実績に応じた適切な評価を得られる環境を整えていると。そうした体制があれば、社内がまとまっていくことでしょう。

ええ。そうして一丸となって、もっと成長していきたいです。今年の夏ごろには、東京に関東支店を立ち上げる予定なんです。地域毎に仕事のスタイルや人柄は違いますから、色々な地域で働くことはとても勉強になります。関東支店の設置を皮切りに、さらに拠点を展開ていきたいですね。

——社長や皆さんのますますのご活躍が、今から楽しみです！ 最後になりましたが、今後の夢を伺います。

地元・仙台市に、子どもたちが遊べるアミューズメント施設を作りたいです。山形県と比べて、仙台市にはそういう施設が少ないように思うんです。ですから、そういう施設を建設して、子育て環境を向上させる一助となりたい。ひいては、人々が笑顔で暮らしていくような環境を作り続けていきたいですね。

——今後のご活躍を応援しています！

(2019年3月取材)